



大和川の水質改善に向けた取り組み

大和信用金庫

大和川の水質改善への取り組み経緯について

■ 取組経緯

- ・平成16年12月に「CSR検討委員会（現在の「やましんSDGs推進委員会）」を設置

テーマ

『Next Generation ～未来へ～』

次世代のために、私たちは歴史と環境を大切にします。



地域のためになる活動を企画・実行

- ・奈良県の課題となっていた「大和川の再生」に向けた取り組みを検討
（当時、大和川は全国の一級河川で水質ワースト1）

- 取組事例① 「大和川定期預金」の取扱い
- 取組事例② 「ふるさと大和川源流体験ツアー」の開催
- 取組事例③ 「奈良県地域貢献サポート基金」を通じた活動支援

大和川の水質改善への取組①

大和川定期預金の取扱い

■ 取組経緯

- ・大和川の水質改善に向けて、特に信用金庫の業務として何らかの商品を企画できないかとの考えから誕生

■ 定期預金の仕組み

- ・大和川の水質(BOD年平均値)が基準よりも改善されると、お預入いただいた定期預金の金利を上乗せする利息後付型の定期預金 (募集期間は7月から9月まで、金利決定は翌年2月頃) お客さま自らが意識し、参加・行動していただくことで、大和川の水質が向上し、お客さまも金利上乗せのメリットを享受できる仕組み (粗品に水切りネットやアクリルたわし)
- ・「大和川基金」を設立し、本商品の預入総額の0.01%の金額と役職員からの寄付金を毎年寄付している。

※「BOD」とは

生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demandの直訳)の略称で、主に川や下水、排水の汚れを測定するのに用いられています。調べる水を酸素が十分にある状態において、一定条件のもとで主として水の中で微生物が増えたり、呼吸するときに消費される酸素量(mg/ℓを用いる)で表します。水の中に有機物が多いと、それだけ消費される酸素の量が多くなるので、値が大きいほど有機物が多いということになります。生活雑排水のBODは大体200mg/ℓくらいありますが、汚染の少ない山間部の清流などでは0.5mg/ℓ以下です。

■ 成果

- ・第1回の取扱い以降、預入額は毎回募集枠を超え、お客さまから高評を得ています。
- ・奈良県による大和川一斉清掃等の取組もあり、大和川の水質は平成17年の6.4mg/ℓから令和元年では2.4mg/ℓに改善されました。



大和川基金について

■ 設立経緯

- ・平成19年の「第2回大和川定期預金」の取扱い時に設立
- ・大和川の再生に向けた取組みを支援し、その活動を通じて大和川再生の想いが地域に拡がり、大和川がふるさとの川として再び地域社会に根付くことを目的とした。

■ 原 資

- ①大和川定期預金預入総額×0.01%の金額(大和信用金庫が拠出)
 - ②役職員による寄付金
- 平成19年10月の設立より上記①および②により毎年寄付(総額1,586万円)

■ 活用

- ①大和川の水質改善に関する事業への助成
- ②大和川の水環境の整備・保全及び美化等に関する事業の助成
- ③大和川の再生に向けた啓発事業への助成
- ④その他この基金の目的を達成するために必要な事業

大和川の水質改善への取組②

「ふるさと大和川源流体験ツアー」の開催

■ 取組経緯

大和川定期預金がお客さまからの高評を得、「大和川基金」の活用により更なる大和川の再生に向けた取組みを進めるべく、NPO団体他との協働で「大和川わくわくフェスタ実行委員会」を組成し、大和川基金による第1回イベントとして、「ふるさと大和川源流体験ツアー」を平成19年11月に実施

■ イベントの内容

- (対 象) 小学生以下の子ども、保護者等 計100名
(内 容) 大和川支流の源流および下流の水質調査
水生生物観察、竹クラフト体験、里山探索等

■ 成果

- ・参加者は水質検査で生活排水等により川が汚れていることを体験し、自然の大切さについて考えるきっかけとなる
- ・イベントがきっかけとなって開催地の周辺住民の意識啓発につながり、周辺の整備を自主的に進める地域がある
- ・県・NPO団体・企業の協働により環境への取組を継続して実施



大和川の水質改善への取組③

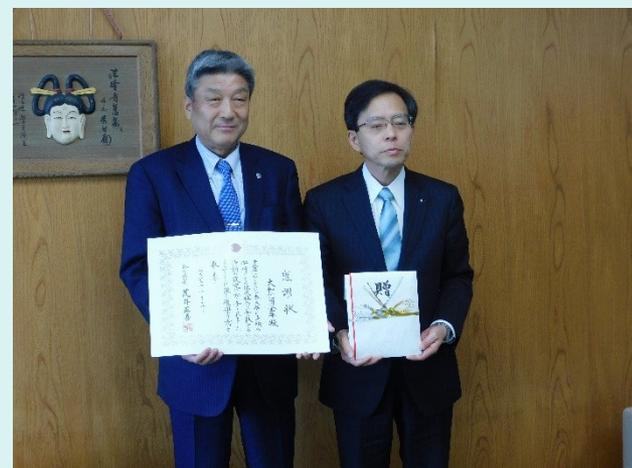
「奈良県地域貢献サポート基金」を通じた活動支援

■ 取組経緯

- ・大和川の水質改善に向けた「大和川定期預金」や「ふるさと大和川源流体験ツアー」等の取組を進めるとともに、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援するために、奈良県が運営する「奈良県地域貢献サポート基金 寄付者テーマ設定型協働推進事業」に「大和川水系の水環境改善活動」をテーマとして平成23年から毎年寄付を行っています。

■ 成果

- ・これまでの寄付(計9回、総額425万円)により、延べ18団体の水環境改善活動を支援
- ・奈良県・NPO団体等を含め、多様な主体が連携・協力して地域課題に取り組むことにより、くらしやすい地域づくりを進めることができる



大和川定期預金等の反響

■ 環境各賞の受賞について

- ・平成19年2月 フジサンケイグループ主催「第16回地球環境大賞<フジサンケイビジネスアイ賞>」
- ・平成19年3月 三重県主催「第5回日本環境経営大賞<環境プロジェクト賞>」
- ・平成19年6月 関西広域機構主催「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」
- ・平成19年12月 日本フィランソロピー協会主催「第5回企業フィランソロピー大賞<地域環境賞>」
- ・平成20年4月 (社)日本河川協会主催 第10回日本水大賞<奨励賞>
- ・平成20年5月 第11回 信用金庫社会貢献賞<特別賞>
- ・平成20年6月 平成20年度 奈良県環境保全功労賞
- ・平成21年2月 第1回経営者「環境力」大賞
- ・平成22年6月 第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト 審査委員特別賞
- ・平成25年2月 第3回地域再生大賞<優秀賞>

